



途中で休憩

大自然の中を歩く

## 第14回 利根別原生林歩くスキーハイキング

- 1、日時：平成31年3月2日(土) 9:50~12:00
- 2、場所：北海道グリーンランドホワイトパーク
- 3、コース：7km:チャレンジコース、5km:ゆっくりコース、3km:らくらくコース
- 4、参加人員：岩見沢スキー連盟20名、歩くスキー協会4名 合計24名
- 5、天候：曇り、気温:0℃、雪温:-2℃、積雪:81cm(去年は123cm)
- 6、内容：
  - 利根別休養林(原生林)に入山する7kmコース(去年は熊出没情報により入山禁止)、パークゴルフ場を回って戻る5kmコースとグリーンランドスキー場からバラ園まで戻る3kmコースとなりました。
  - 当協会からは希望者4名がオープン参加し、7kmを完走しました。
  - 当日は風も無く、スタート前は雪がちらつくも、途中で止み、スキーハイキング日和となりました。7kmコース前半(低地)の雪質はあまり良くなかったですがコースを上るにつれて雪質も良くなり、昨年より滑りやすかったようです。下りのコースは気温も上がり雪質が良くなかったため、コースを変更したところ、丁度シマフクロウの通り道にあたったと思われ、運良くシマフクロウの出迎えを受けるハプニングがあったので、皆さん感激していました。
  - 到着のロッジで、昨年同様岩見沢スキー連盟の皆さんから暖かい甘酒をいただきました。
  - 岩見沢スキー連盟より、来年は15回大会を迎えるので、北海道歩くスキー協会として多くの方の参加をお願いしますとの要請がありました。皆さん一緒に参加しましょう。



参加者の皆さん



甘酒のサービス

## 平成31年度 「有志による春山歩くスキーハイキング」

- 1、日時：平成31年3月17日(日)
- 2、場所：奥手稲沢川・山の家コース  
9:15春香山登山口スタート~奥手稲沢川沿い~つげ山取り付、  
~11:20ごろを目指し折り返し~出発点へ戻るコース 約9km
- 3、参加人員：9名
- 4、天候：晴れ時々雪
- 5、内容：
  - 幹事役員の下見等入念な準備を尽くしましたが、チャーターバスによる実施は参加者が少なく断腸の思いで断念しました。残念がる人又実施要望者も多く熟慮のうえ「有志による実施」を決意しました。

- 乗合マイカーで国際スキー場の約2キロ手前の春香山登山口に定刻に到着しました。スタート地点には小さな物置小屋があり、雪に埋もれて見えにくい程でした。その前で集合写真を撮り出発しました。
- 川沿いの小さなアップダウンの続くコースをゆっくりと登っていきます。天候も回復し、無風状態で川のせせらぎや樹林の景観を楽しみ又雪の魂の芸術に見とれたり春の息吹を感じながら前進しました。古いスキーのトレースと昨日のものと思われるスノーシューの跡が残っていましたが途中から足跡が消えて沢は狭くなり、幹事の誘導で注意し急な沢川を渡り折り返しの目標地点に到着しました。
- 帰りは春の日差しを受けながら下りを一気にスキーを楽しみそれぞれマイペースで無事全員が完走しました。70代の参加者は「本日は天候も良く大変楽しいハイキングでした。いつまでも思い出として残ると思います」と笑顔で言っていました。帰りは小金湯温泉で汗を流しました。来年も企画予定しますので、多くの参加者を期待致します。



記念写真



注意して沢渡り



緩やかな登り

### 第37回 蘭越町ニセコ連峰歩くスキー大会

- 1、日時 : 平成31年4月14日(日)
- 2、場所 : 蘭越町ニセコ連峰チセヌプリ山麓周辺
- 3、天候 : 快晴、気温9℃(スタート時)
- 4、コース : 白樺コース 5km、シャクナゲコース 10km、チセヌプリコース 15km、パノラマコース 30km
- 5、参加人員 : 143名(道内外)
- 6、内容 :
  - 絶好の素晴らしい天候のもと、スキーシーズン最後を惜しみながら又蘭越町開基120周年記念大会として開催されました。春の陽ざしを浴びながらニセコ連峰の雄大な景色を満喫し、爽やかな汗を流しました。
  - スタート直後に過酷な登り坂の難所がありその後もかなり長く登りが続きます。選手は息をきらし懸命に登り終えるとチセヌプリ岳とシャクナゲ岳が目の前に迫りニセコ連峰の大パノラマが展開し、感動しました。下りはヘアピンカーブをスキーをうまく操作し、又樹林の間を転ばない様に悪戦苦闘しながらゴールしました。
  - ゴール後に、豚汁を食べながら初めて参加した70歳代の男性は「タイムも順位も関係なく景観を皆で楽しむ歩くスキー大会でほもぼのとした大会でした」と笑顔で話しておりました。
  - 会場では、蘭越町特産品の出店や豚汁・コーヒの無料サービスがあり大好評

でした。開会式後の恒例のお楽しみ抽選会とゴール後の抽選もあり、大会を盛り上げました。又帰りには雪秩父温泉で無料入浴をして汗を流し、仲間同士で今年の大会を振り返りました。



開会式



30 kmスタート



15 kmスタート



10 kmスタート



5 kmスタート



チセヌプリの麓に行く

### 令和元年 環境保護講座 西岡公園（西岡水源地）植物の見学

- 1、日時：令和元年5月19日（日） 10:00～12:40
- 2、場所：西岡公園 札幌市豊平区西岡487
- 3、天候：快晴、気温24℃
- 4、参加人員：20名
- 5、コース：管理事務所～自然公園一周の一部～水源地一周 7.8 km
- 6、内容：
  - 当公園は、西岡水源地と呼ばれる貯水池を中心に月寒川及びその上流域の湿原と森から成る公園で水と緑に恵まれた環境に多様な動植物が生息しています。水が豊かな公園内ではヘイケボタル等が生息し、またバードウォッチングや自然愛好家に広く親しまれています。
  - 今回は事前調査した主な開花植物25種類を探して頂き幹事の解説等があり自然に対する環境を学ぶ事に致しました。可憐に咲いたオオバナエンレイソウ、ヒトリシズカ、ツクバネソウ、マイズルソウ、シラネアオイ等々を見つけ自然を身近に感じながら歩きました。
  - 参加した60代の女性は「札幌の中心部の近くに、このような自然度の高い場所が残されていることが感動的でした」と笑顔で話していました。
  - 貯水池として作られた西岡水源地だけではなく、その南側には湿原があり、遊歩道が整備されていました。湿原には、水芭蕉の開花は終わっていましたが、綺麗に咲く光景は、まさに札幌にある小さな「尾瀬」を連想させる素敵な公園でした。
  - 環境保護講座は、協会の理念の一つに恵まれた自然に親しみ環境を守り、その破壊を防ぐように技術面でなくスポーツのマナーや自然保護の理念を復旧する。すなわち暖冬異変に伴い降雪が少ないとスキーが出来ない。このような願いを込めての環境保護講座が10年前から始まりました。次年度も企画いたしますので、参加の程よろしくお願い致します。



集合写真



植物を探しました



湿原木道を歩く

もどる